

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 5 月 9 日 (2019.5.9)

【公開番号】特開 2017-99830 (P2017-99830A)

【公開日】平成 29 年 6 月 8 日 (2017.6.8)

【年通号数】公開・登録公報 2017-021

【出願番号】特願 2015-238097 (P2015-238097)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 6 F

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

【手続補正書】

【提出日】平成 31 年 3 月 29 日 (2019.3.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数コマの図柄を可変表示させる複数の可変表示要素と、

遊技媒体の投入下における可変表示開始操作に基づいて、内部抽せん用の乱数値を抽出し、予め定義した当せんエリアに対する抽出した前記乱数値の属否により当せんエリアに含まれる役の当否を決定する内部抽せん手段と、

前記可変表示要素の可変表示を、対応する停止操作に基づいて各停止させ、所定の有効ラインに前記内部抽せん手段により当せんと決定した当せんエリアに含まれる役に対応した図柄の組合せの表示を許容させる可変表示制御手段とを含み、

第 1 状態と、

特定役を入賞させるための適合停止操作情報を遊技者に報知させる補助遊技を作動させる第 2 状態と、

前記第 2 状態が終了した後、前記第 2 状態よりも遊技者にとって有利でなく、かつ前記第 1 状態よりも遊技者にとって有利な第 3 状態と、を実行可能であり、

前記第 3 状態において、当初に設定する遊技期間を、複数の遊技期間の中から選択的に決定する、

ことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記内部抽せん手段は、小役及び特別役を含む役の当否を決定し、

一般中状態と、前記特別役に当せんした場合に移行する内部中状態と、前記有効ラインに前記特別役の図柄の組合せを表示した場合に移行する作動中状態と、の間で遊技状態を移行させる遊技状態移行手段を含み、

前記小役には、遊技媒体の投入数よりも高い配当である複数の高配当役を含み、

前記内部抽せん手段は、

前記一般中状態及び前記内部中状態において、複数の前記高配当役が互いに重複せずに他の小役と重複当せんする複数の第 1 当せんエリアが存在するように前記内部抽せんを行い、

前記作動中状態において、複数の前記高配当役が重複して当せんする第 2 当せんエリアが存在するように前記内部抽せんを行い、

前記作動中状態における前記内部抽せんで前記第 2 当せんエリアに当せんする確率は、前記一般中状態及び前記内部中状態における前記内部抽せんで前記複数の第 1 当せんエリアのいずれかに当せんする確率よりも低く、

前記作動中状態における前記内部抽せんでの全ての小役のそれぞれの当せん確率は、前記一般中状態及び前記内部中状態における前記内部抽せんでの全ての小役のそれぞれの当せん確率以上であり、

前記作動中状態における前記内部抽せんでの小役全体の当せん確率は、前記一般中状態及び前記内部中状態における前記内部抽せんでの全ての小役の当せん確率よりも高い、

ことを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

図面の符号を括弧内に付記して例示する。

本遊技機は、

複数コマの図柄を可変表示させる複数の可変表示要素（左リール 1 L，中リール 1 C，右リール 1 R）と、

遊技媒体の投入下における可変表示開始操作に基づいて、内部抽せん用の乱数値を抽出し、予め定義した当せんエリアに対する抽出した前記乱数値の属否により当せんエリアに含まれる役の当否を決定する内部抽せん手段（K）と、

前記可変表示要素の可変表示を、対応する停止操作に基づいて各停止させ、所定の有効ラインに前記内部抽せん手段により当せんと決定した当せんエリアに含まれる役に対応した図柄の組合せの表示を許容させる可変表示制御手段（リール制御手段 V）とを含み、

第 1 状態と、

特定役を入賞させるための適合停止操作情報を遊技者に報知させる補助遊技を作動させる第 2 状態と、

前記第 2 状態が終了した後、前記第 2 状態よりも遊技者にとって有利でなく、かつ前記第 1 状態よりも遊技者にとって有利な第 3 状態と、を実行可能であり、

前記第 3 状態において、当初に設定する遊技期間を、複数の遊技期間の中から選択的に決定することを特徴とする。

「可変表示要素」は、リール、ベルト、画像を含む。「遊技媒体」は、遊技メダル、遊技球、貯留装置の電磁的記録を含む。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

以上の遊技機において、

前記内部抽せん手段は、小役及び特別役を含む役の当否を決定し、

一般中状態と、前記特別役に当せんした場合に移行する内部中状態と、前記有効ラインに前記特別役の図柄の組合せを表示した場合に移行する作動中状態と、の間に遊技状態を移行させる遊技状態移行手段（J）を含み、

前記小役には、遊技媒体の投入数よりも高い配当である複数の高配当役を含み、

前記内部抽せん手段は、

前記一般中状態及び前記内部中状態において、複数の前記高配当役が互いに重複せずに他の小役と重複当せんする複数の第 1 当せんエリアが存在するように前記内部抽せんを行い、

前記作動中状態において、複数の前記高配当役が重複して当せんする第2当せんエリアが存在するように前記内部抽せんを行い、

前記作動中状態における前記内部抽せんでは前記第2当せんエリアに当せんする確率は、前記一般中状態及び前記内部中状態における前記内部抽せんでは前記複数の第1当せんエリアのいずれかに当せんする確率よりも低く、

前記作動中状態における前記内部抽せんでの全ての小役のそれぞれの当せん確率は、前記一般中状態及び前記内部中状態における前記内部抽せんでの全ての小役のそれぞれの当せん確率以上であり、

前記作動中状態における前記内部抽せんでの小役全体の当せん確率は、前記一般中状態及び前記内部中状態における前記内部抽せんでの全ての小役の当せん確率よりも高いことを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】